

うがリンチングの如き私刑の餘裕を與へない、凡ての文明的機關文化的設備は
一と通り出来て居る、不十分な處もあるが、それには常に研究を怠らず改善の
道を講じて居る。

殊に我國は地球上に於て氣候のよい温帯に社會を造り春夏秋冬時を違へずし
て來往し、人民は炎暑に堪ふることにも馴れ、嚴冬を凌ぎ得る體質をも有して
居る、如何にも天災は多いが、然し和蘭の如き大仕掛のダイクを築かずとも防
止し得らるゝのである。

我國民は身體矮小、容貌醜惡と評せられて居るが、頭腦は決して歐米人に劣
らぬと云ふ自覺を有して居る、戰爭は好まぬが、若し挑まれて退引ならぬ場合
には受け刀となつて必ず勝つと云ふ氣概もある、勇氣と器用と模倣と同化は我
國民の長所である。

二、改善の方法

社會に如何に強き部分があつても其弱き部分に注意せざれば其強き所も自然
に弱くなる、心臟が強いと威張つて居つても肺結核の進歩しつゝあるに氣付か
ざれば心臟其ものも終には用をなさなくなる、人は心臟のみにて生くるもので
ない、社會の生命も同様であつて各部相調和して各其健康を保持しなくてはな
らぬ、其一局部に缺陷があれば、假令それが小部分であつても、漸次擴大して
終には全體の破滅とならないとも限らぬ、故に常に社會の健康診斷を怠たらず
して、何等かの疾患を發見したらんには速かに相當の手當をなし之を除去する
の道を講せなくてはならぬ、社會改造の必要がこれから起るのである。

社會改造に二つの方法が考へられた、第一は社會の各部に痛みがあるのは社
會其ものゝ組織が悪いからである。故に全體の組織を取毀して更に完全な理想
的な社會を組立つれば各部の疾患は自然に消滅するのであると云ふ、第二はそ
れは不可能である、其痛みのある所を治療すべく、疾患の性質に従つて醫藥も

異なる如く、其部分部分に就て相當の改善を施して行けば社會全體が自然に強くなる譯であると云ふ、無論第二の方法を取らなくてはならぬ、社會は建築物の如きものでなくて有機體の如きものであることは序文に言ひ置た通りである建築物なれば取毀して新らしく改築することも出来ようが、有機體はそう行かぬ、頭を引き抜き、手足を取り外づして更に恰好のよい身體に組立つことが出来よう筈がない、それは單純に破壊であつて改善ではないのである。

三、社會病の救治

社會病の性質は千種萬別である、其現象も千態萬狀である、本書に收めたる社會病は單に予が自ら其重なるものと思惟したるものゝみにて其他にも多くの缺陷あることを記憶せねばならぬ、天變地異に基く災害の如きは、所謂災難であつて何等道徳的意義を有して居ない、其被害者に對して救濟の道を講ずることは宗教道徳の力を要するのであるが其災害を防止する事は多く専門的智識

の力を藉らねばならぬ、之れに反して梅毒の如き、酒の中毒の如きものは當事者の精神に道徳的缺陷があると見ねばならぬ、施政者も道徳家宗教家も提携して之れが撲滅策を講ずべきであらう、癩病や肺病は不注意の結果とは云ひ得らるべきも不道徳の結果とは云ひ得られぬのである、之を救治するには特に専門家の努力に依らねばならぬ、白痴兒や不良兒に對しては特種教育家の同情的援助を願はねばならぬ、犯罪者問題の如きは施政者教育家道徳家の總動員を要求する。

凡て社會の改善は所謂社會事業家と稱する一階級の人に一任すべき性質のものでない、國民擧て社會事業家でなくてはならぬ、専門的智識を有するものは其智識を提供すべく、直接其事業に當り得る境遇にあるものは進んで其身を提供すべく、富を有するものは喜んで其富の一部を提供して事業家を後援すべく、金なく智識なきものでも、其力を以て助くることも有り得らるのである。社

會病は社會自身の疾患である、故に社會全體が其救治の責任を負ふのは當然である。

社會病理の研究

大正十二年二月廿八日印刷
大正十二年三月三日發行

定價二圓三十錢

著者 元田 作之進

發行者 福永 文之助

印刷者 澤田 文雄

發兌 東京橋尾張町 警醒社書店
振替東京五五三

學園印刷所印行

□ 著 彦 豐 川 賀 □

究研の理心民貧

本書は賀川氏が貧民窟生活に於ける最初の業績であり、一部社會思想家に多大のショックを與へた著作であつた。此れ近代社會の特産物たる貧困及貧民の科學的研究として、歐米學者間に於てさへ試みられざりし心理的研究を、僅か廿四歳の青年學徒が第一指を觸れた故であり、而も單なる觀察と統計の羅列に非ずして、躬親しく貧民窟に投じ病菌と饑餓の逼る三疊の室でペンを執つたからであり、否！貧困階級に對する熱烈な愛に裏づけられた著作であつたからである。

氏の論敵堺利彦氏等が、尙隱約の間に氏に好意を持ち得るのも恐らく本書中に燃ゆる人類愛、貧困階級に對する同情と共鳴の結果であらう。著者が今日社會運動家としての素質は、此等の研究中に養はれたものであり、その基礎哲學は本書が生んだのであつた。今日社會改造、貧民救済に思ひを寄せる青年が賀川氏の著作として最初に手に觸れる物が本書であるのも、又如上の意味からである。

□ 菊版六百八十餘頁
總洋布特製函入

□ 定價 三圓五十錢
送料 十 八 錢

□ 著 彦 豐 川 賀 □

築建間人と苦間人

私は苦痛の中に感謝すべき數々を發見しやう。人間苦は又人間建築である。苦惱の無い者に創造はない。私は苦痛そのものまでも黙示として感謝しやう。こんなに考へて私は凡ての苦惱の中に靜座する。貧乏も、病苦も、凌辱も、飢餓も、監獄さへも私に與へられたる大きな黙示である。私はその凡てに向つて感謝する。然し苦痛は事實である。社會惡の凡ては事實である。それに就て我等は無頓着では居れない。然し苦痛を廢除する爲に更に新しい苦痛の十字架を覺悟せねばならぬ。私達はそれに耐え忍ばなくてはならぬ。……著者

第一章、苦痛の哲學 第二章、基督教に於ける救の經驗と其心理 第三章、軍國主義に就て 第四章、國家禁酒論 第五章、社會主義と進化論 第六章、工場立憲運動 第七章、日本に於ける賃銀労働者の不安 第八章、婦人労働者の解放 第九章、労働者の負傷の研究 第十章、兒童虐待防止論 第十一章、不良少年の科學的研究 第十二章、貧兒感化避暑論 第十三章、都市の心理的基礎 第十四章、貧民心理に就て 第十五章、労働者の心理 第十六章、貧民窟十年の經驗 第十七章、人間建築論

□ 菊版四百五十頁
總洋布特製函入

□ 定價 三圓五十錢
送料 十 八 錢

ハーゲン・アトウイリアム・ジエームズ著
大學教授

青山學院 神學部教授 比屋根安定譯

全譯 宗教經驗の諸相

菊列七百五十頁
背布特製函入
定價四圓五十錢
送料書留廿七錢

宗教心理學の世界的名著の全譯成る。一面現下の我が宗教界の諸傾向を徹底的に哲學上より批判せりとも云ひ得らる。

- ◇近代哲學の中に、プラグマティズム・根本經驗主義・多元的神秘論を入れた哲學者が、價值批評の立場より宗教的傾向を論じた大著作。
- ◇生理學、解剖學を修め、米國で最初の心理學研究室を大學に設けた心理學大家が、古今の聖徒、法悦に醉ふ者、禁慾の苦行者、而して近代の宗教的先覺者の宗教心理を解剖し批判した人間記録。
- ◇文學博士石原謙氏曰く「ジエームズの殘した『宗教經驗の諸相』は宗教心理學に關する最も優れた代表作であり、恐らく唯一の纏つた著述である」と。
- ◇近代人にして著者の臨床講義の材料となつた者に、アミール、カーライル、トルストイ、ルナン、カーペンター、ホイットマン等がある。
- ◇キリスト教、佛教、回教、神秘主義の教理と經驗とは、彼の鋭き批評を蒙つてゐる。
- ◇譯者はこの世界的大著作を、註に至るまで全譯した。書中の獨逸語佛蘭西語は勿論、ラテン語、梵語を一々邦譯し、五十餘個に註譯を施す。

農學士 木村德藏著
自然科學と

人生問題

定價 850錢
送料 27錢

凡ゆる一切萬有は形而上形而下の論なく、人生を機軸として、如何に密接に人生に對して交渉を持つてゐるか、具體的研究に依り、夫れ如何に其價值に至つては、谷津博士内村鑑三氏有島武郎氏其他が親切に紹介してゐるに徴して知る事が出來やう。

ギユリツク博士著
科學概論

定價 230錢
送料 18錢

諸科學の性質及諸科學相互の關係を明かにし、以て總括的知識を收得せしめんとするは本書の主眼である。即ち該博なる知識と斬新なる見解と巧妙なる手腕とを以て、科學、哲學、宗教、神學、美學、倫理學其他凡ゆる廣義の諸科學を分類し、總合して、以て諸科學の概括的知識を提供すること大なるに努力を拂つてゐる。

技元長夫編
東京 通俗講話

定價 280錢
送料 17錢

「夕焼がすれば果して天氣か」「何故に美人は薄命か」等と云ふ後等の常識に於て知り得ず、或は分擔して興味深く講述したもので、斯道専門の理工、農學博士五十人が分擔して興味深く講述したもので、科學知識の缺乏は、國民の通弊とされてゐるが、元來本書の如く深遠な學理を平易に講述した書籍の缺乏にも依るのである。

理學博士谷津直秀著
母の愛の進化

定價 120錢
送料 6錢

母の愛の進化を鳥獸より人類へ進つたもので、數多の寫眞を挿入し、興味深い讀物である。母の愛は、著者の科學上の深奥な智識に、加ふるに、衷心よりの愛が何にかしたるの眞の姿を捉へてゐるのを感じて、讀み行くうちに、涙の泌み出るのを覺へしめる。

理、農學博士
松村松年著
生物界の神秘

定價 250錢
送料 15錢

生物界の疑問以下廿數項、悉くその博大なる智力を以て、これに精神の含め、幾多の實例を惹き、興味深き状態を示し、平易に、科學的意義を叙述せる所、一讀巻を措く能はざらむ。殊に人間に近き動物が、全紙に躍り出て、切々人生を説くやうな氣を喚ぶものがある。面白く爲になる書物と云ふことが出來る。

元田作之進・高橋正熊共譯

アリス
ト
倫
理
學

菊判七百二十餘頁
總ヶロース上製
定價一圓六十錢
送料十八錢

□ 短篇講話集

定價五十錢
送料六錢

□ 短篇說教集

定價五十錢
送料六錢

元田作之進著

□ 求道者に與ふる書

定價六十錢
送料六錢

60
738

終

